

G-NICE

GIFU UNIVERSITY-NOTABLE INNOVATION CIRCLE ENTERPRISE

NEWS LETTER



MAKE NEW STANDARDS.

東海国立
大学機構



岐阜大学

81

2023.6

学術研究・産学官連携推進本部 産学官連携推進部門

Tokai National Higher Education and Research Systems



特集

東海国立大学機構

One Medicine

創薬シーズ開発・育成研究教育拠点 (COMIT)

巻頭

東海国立大学機構岐阜大学
産学官連携推進部門

令和5年度に向けて

産学官連携推進部門の活動の根幹を担う産学連携コーディネーターが令和5年度より増員され、7名の体制で始動しました。これは、これまでの岐阜県との強固な連携が評価され、内閣府の「令和4年度地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」に採択されたことに伴う体制補強の一環となります。この事業は、地域の中核となる大学が独自のミッション・ビジョンに基づく強みや特色を最大限に発揮し、地域ニーズに則した社会貢献活動を推進すること、また地域行政や産業界からの投資誘発を通じて、大学の財源多様化を進めることを目的としています。産学官連携推進部門は、こうした支援を追い風として、岐阜大学の強みや特色を活かしつつ、東海地域の構造変革を担うための産学官連携の推進を図るべく、共同研究企画戦略や共同研究マネジメントをしっかりと担っていきたく思います。皆様方のご協力をいただきながら産学連携コーディネーターとともに活動を進めていきたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

学術研究・産学官連携推進本部副本部長
産学官連携推進部門長
応用生物科学部 教授 矢部 富雄



本部門では、知的財産の創出に加え、岐阜大学発ベンチャー起業支援・成長支援やアントレプレナーシップ教育にもより一層力を注ぐために、ベンチャー担当URAを新たに配置し、研究者の皆様が教育研究活動により専念できるようサポート体制を強化しましたので、起業を目指す方には是非積極的にご活用いただければと思います。

産学官連携推進部門のもう一つの重要な活動として、地域交流協力会の運営があります。会員企業174社が寄り合って、技術相談や課題解決型共同研究、研究紹介・広報など、大学と企業をつなぐ場となっています。自社以外の組織などがもつ知識や技術を取り込んで自前主義からの脱却を図る「オープンイノベーション」を今後の舵取りや再生に活かす企業が増えていることから、岐阜大学がそのパートナーとして貢献するためにも、ぜひ地域交流協力会を活用いただき、地域社会・企業のニーズをタイムリーにとらえ、さらにはご自身の研究の発展にもつなげていただきたいと思います。

産学官連携推進部門 新体制始動

産学連携担当・コーディネーター



産学官連携
推進部門
部門長
矢部 富雄
教授
(応用生物科学部)

副部門長
上原 雅行
准教授
(高等研究院)
起業部 顧問



市浦 秀一



吉本 孝志



日比 章雄



築城 寿長



成瀬 孝志



吉兼 智人



清水 雄一

知的財産担当



副部門長
西田 芳之
特任教授



神谷 英昭
特任教授
(弁理士)

特集

東海国立大学機構

One Medicine 創薬シーズ開発・育成研究教育拠点



COMIT 拠点長
矢部 大介



「One Medicine (ヒトと動物の疾病は共通)」の視座に立ち、わが国の創薬・先端医療研究を加速させる。さらに、幅広い疾病においてヒトと動物の両者を予防、診断、治療可能な医薬品の開発を推進し、「Sharing Medicine (人獣共通医療学)」という新学術領域開拓の基盤形成を目指します。

概要

本拠点 (COMIT) では、比較医学に基づくオーダーメイド型疾患モデル動物を強みとして、構造生物学や細胞・再生医学、インフォマティクスにもとづき核酸から蛋白質、細胞、人工マテリアルまで多様なモダリティによる創薬シーズを開発・育成し、量子技術、AIを駆使した先端医療機器を組み合わせることで、臨床Proof of Concept (POC) 取得成功率の高い有望な創薬シーズを高度に選別し、非臨床試験、治験につなげる研究

拠点として、新たな創薬研究の先導を目指す。さらに、創薬標的の同定から創薬シーズの開発・育成、非臨床試験、治験・臨床試験までの研究プロセスを一気通貫で管理・推進し、医薬品・医療機器開発企業との共同研究や知財導出を支援できる人材を育成し、国内の大学・研究機関や企業等に輩出する教育拠点として、わが国の医薬品開発を加速させる。

One Medicine創薬シーズ開発・育成研究教育拠点



2023年1月 岐阜大学高等研究院に設立

2023年4月 東海国立大学機構の機構直轄拠点事業*へ認定

*機構直轄事業とは、岐阜大学及び名古屋大学がそれぞれ持つ強み、リソース等を融合し、そのシナジー効果が期待できる先進的かつ挑戦的な取組であり、東海国立大学機構として機構自らが推進すべき事業として認定するものです。

目的

「ヒトと動物の疾病は共通」すなわち「One Medicine」という視座にたち、医学、獣医学、薬学、工学等の研究者が分野横断的かつ国内外で施設横断的に連携し、有望な創薬シーズを高度に選別し、臨床応用へつなげる(創薬研究における「魔の川」を克服する)ことでヒトと動物の創薬研究を変革する。

さらに、創薬標的の同定から創薬シーズの開発・育成、非臨床試験、治験までの研究プロセスを

一気通貫で管理・推進し、医薬品・医療機器開発企業との共同研究や知財導出を支援できるマネジメント人材を育成し、国内の大学・研究機関に配置し、オールジャパン体制でヒトと動物の創薬研究を一気に加速させ、「Sharing Medicine (人獣共通医療学)」という新たな学際領域を開拓する。

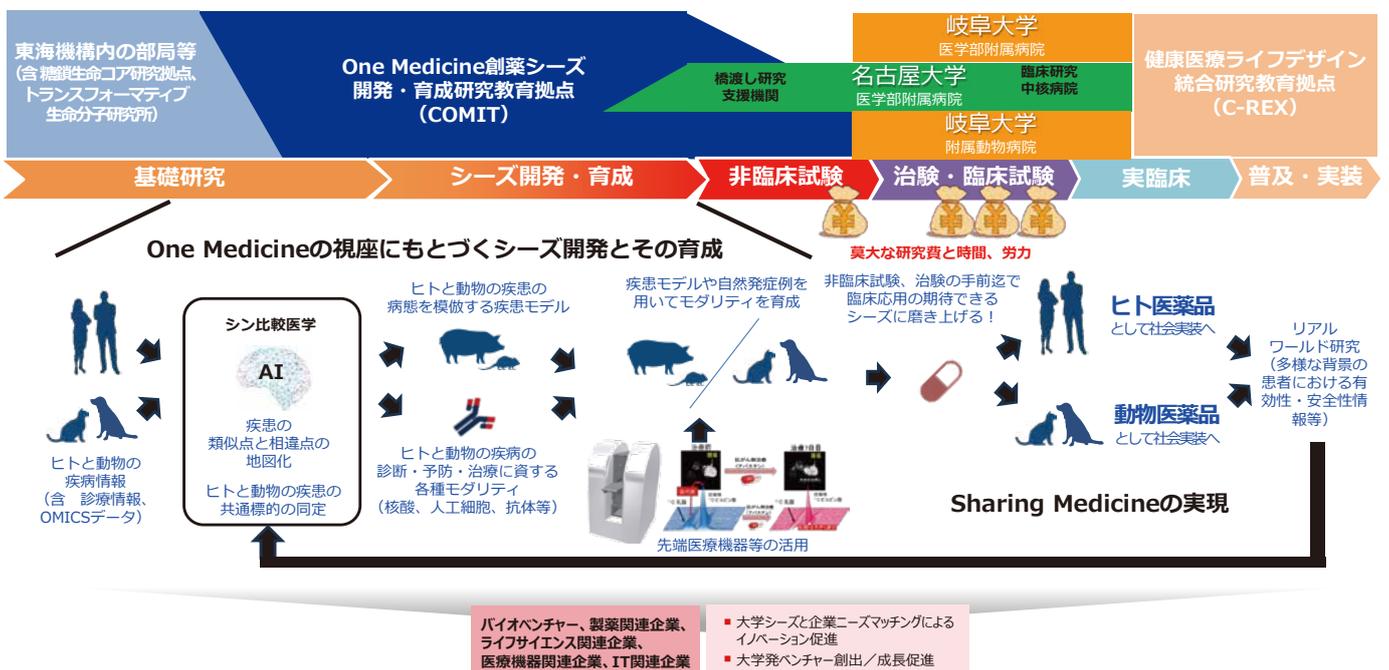
目指す成果

「One Medicine」の視座のもと、国際的にわが国が後れを取る医薬品開発の成功率を高めるだけでなく、「Sharing Medicine (人獣共通医療学)」という新たな学術領域開拓の基盤形成を目指すとともに、この分野を担う次世代研究者を育成する。

さらに、本センターが目指す創薬研究における「魔の川」を克服することにより、東海国立大学機構が掲げる「創薬・先端医療研究戦略構想」を推進する。

東海国立大学機構 創薬・先端医学研究戦略構想における本拠点の位置づけ

アカデミアに埋もれている基礎研究の成果を探索し、ヒトと動物の医薬品として臨床応用が期待できるシーズとして磨き上げる新たな研究の仕組み



社会への波及効果

「岐阜市ライフサイエンス拠点構想」と連動しながら、地域創生の核として、地域変革に向けた地域創薬イノベーション・エコシステム形成ならびに人材の輩出に貢献する。



<https://ari.gifu-u.ac.jp/sangaku/commit/download.html>

組織図



MAKE NEW STANDARDS.

東海国立大学機構



岐阜大学



名古屋大学



COMIT

Center for One Medicine Innovative Translational Research
Tokai National Higher Education and Research System

拠点長：矢部 大介 / 副拠点長：山中 宏二

リサーチマネジメント部門

部門長：坂本倫次

副部門長：水野正明

シーズ管理・探索

- ・創薬シーズの発掘、フレックスシーズの選定評価
- ・部門間の連携推進、シーズ開発・育成に伴走

産学官連携

- ・企業導出、大学発ベンチャー創設
- ・創薬研究マネジメント人材の育成

研究支援

教育
(人材育成)

動物医科学研究開発部門

部門長：伊藤直人

副部門長：榎本篤

動物と人の疾患の相違点の理解から新たな医療・獣医療を開拓

- ヒトと動物の疾病の比較研究の推進
- ゲノム編集等による疾患モデル開発、ライブラリ構築、共同利用促進
- SPF環境の繁殖・飼育
- 感染実験・行動実験等にも幅広く対応
- 自然発症動物を用いた臨床研究

革新的モダリティ創出部門

部門長：廣明秀一

副部門長：上田浩

疾患原因を分子レベルで解明し、革新的創薬シーズを発掘

- 核酸や抗体、細胞等、多様なモダリティのシーズ開発
- 卓越した合成化学によるシーズ開発・展開
- 構造生物学やインフォマティクス等によるシーズ開発

先端医療機器開発部門

部門長：清水雅仁

副部門長：山口茂弘

新規先端医療機器の開発・展開によりシーズを迅速かつ高度に選別

- 量子MRIをはじめとする新規医療機器の開発
- 多様なプローブを用いたバイオイメージング技術の提供
- AIによる新規診断技術の開発

専任4名、兼任73名(名古屋大学17名、岐阜大学56名) 2023年4月時点

COMIT活動実績

- センターキックオフミーティング (2022年8月)
- センター開所式 (2023年1月)
- 東海国立大学機構直轄拠点事業へ認定 (2023年4月)

開所式のショート動画

https://www.youtube.com/watch?v=IGMqvwYu_wU



研究者交流会

- 3分プレゼン交流会 (2022年9月)

採択事業

- 令和4年度 国立大学改革・研究基盤強化推進補助金 (国立大学経営改革促進事業)
- 令和4年度知財戦略デザイナー派遣事業

東海創薬・医療機器開発フォーラム

- 第1回 (2022年11月)
- 第2回 (2022年12月)
- 第3回 (2023年2月)
- 第4回 (2023年4月)
- 第5回 (2023年6月)
- 第6回 (2023年8月予定)



センター開所式 (2023年1月)



キックオフミーティング (2022年8月)



3分プレゼン交流会 (2022年9月)



第2回東海創薬・医療機器開発フォーラム (2022年12月)

今後の活動予定

創薬リサーチマネジメント人材実践的育成プログラム



今年度後期 (2023年10月)開講!

わが国で不足する創薬リサーチマネジメント人材を問題解決型学習により育成し、東海エリアはもちろん、全国に輩出することでわが国の創薬・先端医療研究を加速



COMITに関するお問合せ

<https://comit.gifu-u.ac.jp/>

058-293-3162

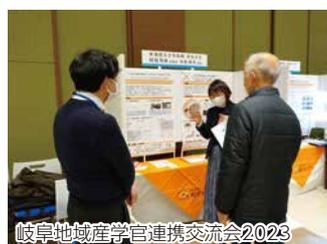
comit@t.gifu-u.ac.jp



令和4年度 産学官連携推進部門 主な活動報告

■ 展示会出展

- せとしん「知財活用ビジネスマッチング交流会」(R4.5.18)瀬戸信用金庫 名古屋研修センター
- ものづくり岐阜テクノフェア(R4.5.20-5.21)岐阜かかみがはら航空宇宙博物館
- JST R4年度新技術説明会(R4.7.19)オンライン
- イノベーションジャパン2022(R4.10.4-10.31)オンライン
- しんきんビジネスマッチング ビジネスフェア2022(R4.10.13)ポートメッセなごや
- 第10回おおた研究・開発フェア2022(R4.10.20-10.21)コンgresクエア羽田
- 多治見ビジネスマッチング 企業お見合い(R4.10.21)多治見市産業文化センター
- アグリビジネス創出フェア(R4.10.26-10.28)東京ビッグサイト
- メッセナゴヤ2022(R4.11.16-11.18)ポートメッセなごや
- Innovation Ecosystem in Shiga(R4.11.16)北ビワコホテルグラツィエ
- 大垣ワンストップ経営相談会(R4.11.17-11.18)大垣市情報工房
- Matching HUB Hokuriku 2022(R4.11.18)ANAクラウンプラザホテル金沢
- 知財ビジネスマッチング in 東海(R4.11.30)ウインクあいち
- アグリビジネス創出フェア in 東海(R4.12.1-R5.1.10)オンライン
- nano tech2023(R5.2.1-2.3)東京ビッグサイト
- 岐阜地域産学官連携交流会2023(R5.2.28)岐阜商工会議所



■ シーズ発表

- 岐阜大学産学連携フェア2022(R4.11.4)岐阜大学全学共通教育講義棟

■ 岐阜大学ラボツアー

- 第1回ラボツアー(R4.12.6)応用生物科学部+岐阜県食品科学研究所

■ 知的財産セミナー ～判例や最新トピックから学ぶ～

- 計6回開催(特許法、商標法、著作権法)

■ 岐阜大学地域交流協力会

- 総会・春の記念講演会「西陣織工場からIoT企業への展開」(R4.5.26)じゅうろくプラザ
- 秋の記念講演会「企業における標準化の戦略的活用のために」(R4.11.4)
岐阜大学全学共通教育講義棟

■ 起業家育成

- 「岐阜大学アントレプレナー育成プログラム ～野心よ集え～」10講座以上開催
- 「第4回ぎふビジネスアイデア・プレゼンテーション」共催(R5.2.11)
- 東海地区大学連携「Tongaliプロジェクト」共同運営
- 「大学公認 起業部」運営支援



令和5年度 主な行事予定(7月～11月)

JST R5年度新技術説明会

日時 令和5年8月8日(火)
場所 オンライン

イノベーションジャパン2023

日時 令和5年8月24日(木)・25日(金)
場所 東京ビッグサイト

しんきんビジネスマッチング ビジネスフェア2023

日時 令和5年10月11日(水)
場所 ポートメッセなごや

第13回おおた研究・開発フェア2023

日時 令和5年10月26日(木)・27日(金)
場所 コンgresクエア羽田

多治見ビジネスマッチング 企業お見合い

日時 令和5年10月20日(金)
場所 多治見市産業文化センター

Innovation Ecosystem in Shiga

日時 令和5年11月14日(火)
場所 草津エストピアホテル

知的財産セミナー

日時 令和5年度の奇数月(原則第3金曜日)
場所 オンライン
内容 特許、商標に関するトピックス等

岐阜大学の産学官連携事業に関する お問い合わせ・ご相談等のワンストップ・ウィンドウ

TEL.058-293-2025 FAX.058-293-2022 E-mail:sangaku@t.gifu-u.ac.jp

私たちがお手伝いします。

産学官連携推進部門長・教授(応用生物科学部)

矢部 富雄

副部門長・准教授(高等研究院)

上原 雅行

副部門長・特任教授

西田 芳之

産学連携コーディネーター

市浦 秀一 吉本 孝志 日比 章雄
築城 寿長 成瀬 孝志 吉兼 智人
清水 雄一

知的財産担当

神谷 英明(特任教授・弁理士)

総合相談窓口 産学官連携推進部門

東海国立大学機構
岐阜大学
学術研究・産学官連携推進本部

産学官連携推進部門



岐阜大学 学術研究・産学官連携推進本部 検索

<https://ari.gifu-u.ac.jp>



MAKE NEW STANDARDS.
東海国立
大学機構



産学官連携推進部門

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1